

Google Classroom の活用

教科・場面

理科・社会

授業・実践のねらい

Google Classroom を活用し、インターネットを通じて、情報を適切に収集する力を身につける。

対象の児童・生徒

高等部 グループ

- ・必要な支援のもと、キーボード操作をすることができる
- ・「ローマ字入力」あるいは「かな入力」で文字を打つことができる

教材・教具

- ・パソコンあるいはタブレット
- ・Google アカウント（各生徒に付与）

工夫したところ

写真や動画などを挿入できるように、インターネット上で完結する授業プリントづくり

●授業展開

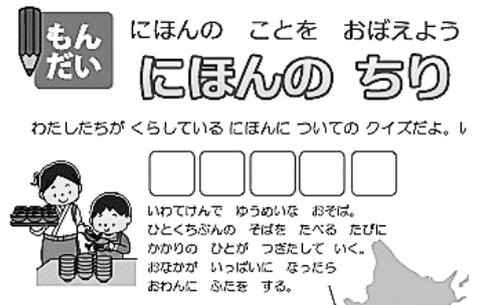
→Google classroom に各自がログインし、課題を送付。都道府県の名産に関するプリントを活用する。

●教材の使い方

→オンラインの特徴を生かすために、分からないことはインターネットを通じて検索。名産品の画像や映像を各自が選び出す。各自が選んだ画像等の写真を全員に共有。

●実践の内容

→今回、共有する内容は「大阪の有名な場所や食べ物の写真」という課題。それぞれが選ぶ観光地や食べ物を共有することで、「深い学びかつ対話的に進める授業」を行っている。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

インターネットに触れる機会が多い社会に対して、ICT 機器を駆使して、1時間近く集中して授業に取り組んでいる。特に、分からないことに対して上手にキーワードを検索欄に打ち込むことができている。また画像の挿入も円滑にできるようになっている。→情報検索能力・ICT 機器活用能力の向上